【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年5月13日(2025.5.13)

【公開番号】特開2025-71270(P2025-71270A)
【公開日】令和7年5月2日(2025.5.2)
【年通号数】公開公報(特許)2025-080
【出願番号】特願2025-26692(P2025-26692)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｍ　5/14(2006.01)*
*Ａ６１Ｍ31/00(2006.01)*
*Ａ６１Ｍ25/00(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　5/14　５４０
Ａ６１Ｍ31/00
Ａ６１Ｍ25/00　６２４
Ａ６１Ｍ25/00　５３２

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月30日(2025.4.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
心臓への作用物質送達に適した針注射カテーテルシステムであって、前記針注射カテーテルシステムは、
カテーテル本体であって、前記カテーテル本体は、遠位端と、近位端と、前記カテーテル本体を通る送達管とを有し、前記カテーテル本体は、可撓性で弾性の遠位区画を有し、前記送達管は、送達管腔を有する、カテーテル本体と、
前記カテーテル本体の前記遠位端から延在する螺旋針であって、前記螺旋針は、前記カテーテル本体の前記送達管腔から注射可能物質を受容するように接続されている少なくとも１つの大口径螺旋送達管腔を有し、前記少なくとも１つの大口径螺旋送達管腔は、少なくとも１００μｍの平均粒径を有する粒子を送達するように構成されている、螺旋針と、
誘導カテーテルであって、前記誘導カテーテルは、前記螺旋針および前記カテーテル本体が前記誘導カテーテルを通って前進させられるときに前記誘導カテーテルが前記螺旋針および前記カテーテル本体を方向付けるように、少なくとも７０度の角度を有する、誘導カテーテルと
を備え、
前記カテーテル本体および前記螺旋針の螺旋部分は、回転可能であり、
前記螺旋針の前記螺旋部分の回転の中心は、前記カテーテル本体の回転の中心に一致している、カテーテルシステム。
【請求項２】
前記送達管腔および前記少なくとも１つの大口径螺旋送達管腔は、薬剤または生物学的物質の通過および注射を許容するように十分に大きい、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項３】
前記可撓性で弾性の遠位区画は、マルチフィラーステンレス鋼コイルを含む、請求項１に

記載のカテーテルシステム。
【請求項４】
前記誘導カテーテルは、８フレンチシースを通過することが可能であるように十分に小さい、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項５】
前記誘導カテーテルは、６．４フレンチシースを通過することが可能であるように十分に小さい、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項６】
前記カテーテル本体は、前記送達管に加えて、少なくとも１つの管を有し、前記少なくとも１つの管のそれぞれは、管腔を有し、前記螺旋針は、少なくとも２つの大口径螺旋送達管腔を有し、前記少なくとも２つの大口径螺旋送達管腔のうちの１つは、少なくとも前記カテーテル本体の各管腔に接続されている、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項７】
前記カテーテル本体は、剛性の近位部分を含む、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項８】
前記カテーテル本体の前記剛性の近位部分は、編組ポリマー管を含み、前記カテーテル本体の前記可撓性で弾性の遠位区画は、前記送達管の遠位部分を巻く螺旋金属コイルを含む、請求項７に記載のカテーテルシステム。
【請求項９】
前記カテーテル本体の少なくとも一部は、前記送達管の一部を巻く螺旋コイルを含む、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項１０】
前記カテーテル本体は、注射可能組成物を前記螺旋針に送達するための第１の管と、造影剤を前記螺旋針の基部に送達するための第２の管とを有する、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項１１】
前記カテーテルシステムは、前記カテーテル本体の前記近位端上にハンドルをさらに備える、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項１２】
少なくとも９０度の角度を有する固定の誘導カテーテルは、前記誘導カテーテルが心腔の中にあるときに、前記遠位端を心内膜壁上の標的場所と整合させるように、前記カテーテル本体の前記可撓性で弾性の遠位区画を偏向させることが可能である、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項１３】
前記誘導カテーテルは、少なくとも９０度の角度まで偏向させられることが可能である、請求項１に記載のカテーテルシステム。
【請求項１４】
前記作用物質は、活性物質である、請求項１に記載のカテーテルシステム。